

津久見市
観光協会
会員の皆様へ

①観光情報発信

②観光関連組織のあり方

2つの部会が発足

令和6年12月18日（水）、「①観光情報発信」「②観光関連組織のあり方」の検証・調査等を目的とした部会（ワーキンググループ）の発足会を部会メンバー全員の参加のもと開催しました。※資料・参加者名簿は別添ファイル参照



河村会長のあいさつ



中津留課長のあいさつ

会長あいさつ、参加者自己紹介後、事務局が資料に沿って、部会での検討内容やスケジュールについての説明を行いました。その後の意見交換において、下記のとおり、様々なご意見が出されました。

- ・河津桜を見て、佐伯や臼杵に行く人が多い。食事（飲食店）の受け皿を増やす必要がある。
- ・SNSだけでなく、新聞・情報誌などでの情報発信も必要・・・。
- ・狩猟体験ツアーが好評だった。コロナ禍後は食を見直している人も多いのでは？津久見市は、食事の後に案内する所が少ないと思う。
- ・県外からの来訪者のためにも、モデルコースが必要。点を線に、まちなかに人を・・・。
- ・津久見はICも近く、インバウンドが増えている。受入対策の強化が必要、課題でもある。
- ・マグロ・モイカは価格が高いため、リーズナブルな「津久見ちゃんぽん」の取組を行っている。少しでも津久見に興味を持ってもらいたい。
- ・日本一の石灰石をもっとPRすべき。セメント・工場夜景・・・。
- ・海に囲まれている沖縄県から来た方が、津久見の海はきれいだと言っていた。津久見には海の豊かな恵みがある。
- ・観光とは？何十万人来るとか来ないとかよりも、地域の生活感を感じてもらうことが重要（会長）
- ・おんせん県おおいたで温泉の無い津久見をPRできないか。（会長）
- ・津久見の魅力はたくさんあるが、一言で言うと何のまち？新しいPRワード考える必要あり。（会長）

今後の第1回目の部会については、事務局が資料・テーマの作成、部会員のスケジュール調整等を行い開催することとしました。その際に、各部会にて「部会の長」を決めていただき、それ以後は、各部会でスケジュール調整を行うこととしました。今年度は、2～3回程度開催する予定です。

令和7年1月からそれぞれの部会で取組がスタートします。その内容については、会員の皆さまへお伝えしたいと思います。

各部会とも令和7年1月から活動を開始します！

問合せ先 津久見市観光協会事務局 担当 旧杵（ウスキ） TEL0972-82-9521